

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立八ヶ岳スケートセンター	所管課	教育庁スポーツ健康課
所在地	山梨県北杜市小淵沢町上の原3989-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和57年12月20日
管理方式	指定管理者(財団法人山梨県体育協会、平成21年4月1日～平成26年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立八ヶ岳スケートセンター設置及び管理条例		
設置目的	スケートの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与するため、八ヶ岳スケートセンターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	管理事務所(528.83㎡)、倉庫兼休憩所(270.00㎡) 屋外スケートリンク(1周400m、幅13m)		
主な業務内容	(1)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (2)利用の承認に関する業務 (3)周辺宿泊施設等と連携した利用促進PR活動 (4)近隣小中学校へのスケート教室誘致 (5)スピードスケート競技大会会場の提供 (6)その他教育委員会が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1)小瀬スポーツ公園アイスアリーナ(屋内60m×30m):フィギュア、ホッケー、ショートトラック、カーリングに利用される。営業7月1日～3月31日 (2)富士急ハイランドコニファーフォレストセイコオーバル(屋外400mトラック):スピードスケートの公式大会にも利用される。営業12月1日～2月28日(民間施設) (3)長野県茅野市国際スケートセンター(屋外400mトラック):八ヶ岳スケートセンターから約25kmの場所に位置している。
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)
利用者数	一般	3,784	3,913	3,755	
	高校生	662	471	386	
	中学生以下	10,031	9,758	8,662	
	利用者数合計	14,477	14,142	12,803	
	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000
	目標値設定の考え方	隣接する観光施設との連携を深めることにより、利用者の増加が可能であるため、H19年度を上回る数値を設定した。			
	対20年度比	100.0%	97.7%	88.4%	103.6%
稼働率	98.9%	96.6%	92.4%		

4. 収支状況

単位:円、%

		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料	5,506,640	5,248,000	4,942,490	5,248,000
	指定管理者委託料	51,207,000	50,877,000	50,877,000	53,075,000
	その他				
	収入合計(A)	56,713,640	56,125,000	55,819,490	58,323,000
支出	人件費	6,843,989	10,100,000	6,111,558	10,473,000
	県への納付金				
	管理運営費	47,141,508	46,025,000	46,583,031	47,850,000
	(うち外部委託費)(B)	26,725,000	26,679,000	26,128,200	26,679,000
	支出合計(C)	53,985,497	56,125,000	52,694,589	58,323,000
収支差額(A-C)		2,728,143	0	3,124,901	0
外部委託比率(B÷C)		49.5%	47.5%	49.6%	45.7%
利用者一人当りの経費		3,621	3,392	3,974	3,538

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成22年12月~23年1月、実施方法:一般利用者、競技利用者へのアンケート、回答数:219人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	やや満足	やや不満・ 不満足	不明・わからない (未記入)
①施設・設備管理	70.0%	11.0%	5.4%	13.6%
②利用規程	54.8%	29.2%	6.4%	9.6%
③受付・接客	86.0%	0.0%	3.7%	10.3%
④サービス	72.1%	6.9%	7.7%	13.3%
各項目の平均	70.7%	11.8%	5.8%	11.7%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・リンクサイド、通路に手すりを設置して欲しい。 ・リンクサイドに休憩用のベンチを設置して欲しい。 ・滑り方をレッスンして欲しい。 ・飲食物の販売を充実して欲しい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・経費がかかる施設の整備・改修については、県との協議を十分に行った上で対応を検討していきたい。 ・21年度はショートレッスンを実施していたが、22年度は実施できなかったため、実施を検討していく。 ・軽食販売を土日、年末年始に行い、好評であったが、食事類を要望する声が多いため、今後充実を図りたい。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	安全性の確保、清掃、スケートリンクの製氷など法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	施設の維持管理については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。
運営業務	施設の利用案内、利用調整や関係業者への指導監督、広報宣伝活動など、適正に業務を執行した。	施設の運営事業については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。
自主事業	自動販売機の設置、貸靴コーナーの設置、売店の出店といった自主事業を事業計画書どおりに行うことができた。今後も継続していきたい。	自主事業については事業計画書どおり業務が行われていることを確認した。売店の出店は利用者から好評を得ていた。 引き続き積極的に自主事業を計画し、利用者へのサービス向上に努めること。
利用状況	観光施設との連携により、一般利用はほぼ横ばいであったが、少子化に伴う競技人口の減少が利用者減少の要因と思われる。	利用者が減少しているため、利用者拡大に繋がるよう、創意工夫したPR活動や情報提供に一層努めること。
収支状況	人件費、燃料費、光熱費などの経費の節減に努め、施設の修繕などの充実を図った。	人件費、光熱費の削減と低価格での燃料単価契約を行うことで支出を抑え、利用者の安全、利用増加のため施設の修繕などの充実を図った点で評価できる。
利用者満足度	常にサービスの向上に留意し、利用者のニーズに迅速に対応するよう事業展開を図った。今後さらに利用者の満足度が向上するよう努めたい。	利用者のサービス向上に努めた結果、平成21年度と比較し、「満足・十分」及び「やや満足」と感じる利用者の割合が10%向上(72.5%→82.5%)した。今後さらに利用者満足度の向上に努めること。
運営目標の達成状況	利用者数の目標15,000人に対し、実績12,803人は達成率85.35%であり、目標人数には及ばなかった。 要因としては、天候の影響と冷凍装置1台の故障による滑走中止(14日)及び滑走中断(4日)の日数の増加が考えられる。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	維持管理業務、運営業務等については適正に実施されている。また、利用者の意見については可能な限り迅速な対応がなされている。 平成23年度は、引き続き経費の削減、集客及び増収に努めること。また、利用者拡大に繋がるよう、利用者ニーズを把握するとともに、利用者の意見には条例、協定等に基づき可能な限り対応すること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	施設の老朽化により、計画以上に修繕経費がかかる場合は県と十分に検討を行い、運営業務に支障を来さないよう迅速に対応したい。 利用者に対しては満足度調査を行い、出来る限りニーズに答えていくよう努力したい。 利用者拡大に繋がるよう今後も積極的に広報活動等に努めていきたい。	

7. 管理体制(組織図)

